

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

下記のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室

2021(令和03)年度学会連携リフレッシュ理科教室 (飯田市座光寺会場)

開催日：2021年08月10日(火)

開催場所 (同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください)：

エス・バード (〒395-0001 飯田市座光寺3349-1)

参加者人数 (スタッフ以外の参加者を記述してください)：合計 23名

内訳	① 児童・生徒：	14名
	② 保護者・一般：	9名
	③ 教諭等：	0名

特記事項 (委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。)

例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など

1. 各会場の運営や参加対象などの特徴

長野県の中でも理科教室などのイベントが希薄な飯田周辺の市町村の小学校に通う児童を対象にしたこと。

2. 教育委員会との連携

飯田市教育委員会、喬木村教育委員会、高森町教育委員会、豊丘村教育委員会に後援になって頂いた。

3. 地方公共団体との協力、他の団体との協力

(一社)電気学会東海支部、信州大学子どもマイスター教室 (CMC)に共催、信州大学航空宇宙システム研究拠点 (SURCAS)、信州大学スピンドバイステクノロジーセンター (SDTC)、信州大学航空機システム共同研究講座 (ASL)に協賛になって頂いた。

4. 補助金に対する要望事項

次年度以降も理科教室が希薄な地域を中心に実施したいので本事業を継続して頂きたい。

5. 他支部でも参考になる事項

昨年度に引き続きコロナ禍下で実施したが、三密回避 (常に4ヶ所以上の入口や窓を全開、家族単位で着席のうえ他の家族と3m以上離す、200㎡以上の広い部屋の使用)や、マスク着用やアルコール消毒徹底などの感染症対策を徹底することで、対面式の理科教室 (演示実験や工作教室)の実施は可能であると思われる。

6. 良かった点

保護者にも同席してもらい、児童達と共同で参加できる形態の理科教室にすると、児童らは保護者 (大人)と一緒に考えるという機会になり、保護者にも理科や工作の重要性について改めて知ってもらうことができ、大きな効果が得られたと考える。また説明に対して熱心にノートを取る児童もおり、参加した児童は少なかったものの例年よりも教育効果が高い理科教室であった。参加した児童全員から最後に笑顔で感謝されたのが印象的であり、保護者からも好評であった。

7. 悪かった点

新型コロナウイルスのデルタ株の拡大を受けて、他に計画が立てることが難しい状況になり、また実施できた理科教室でも出席を見合わせる児童が多く、改めてコロナ禍下での対面式理科教室の難しさを実感した。

応物本会 HP「過去のリフレッシュ理科教室」への掲載事項 (以下の①, ②から掲載方法をご選択の上, 報告事項(写真等を含む)を御記載ください。適宜, 理事会にも活動報告をさせていただきます。)

「過去のリフレッシュ理科教室」

https://www.jsap.or.jp/refresh/refresh_past

いずれかに○をご記入ください。

① () 上記ページからリンク先の各支部・分科会 HP にて下段写真等を掲載予定

② (○) 上記ページから下段写真等を直接リンク・掲載希望

() ここに掲載する写真等は HP に掲載しても良い内容でお願いいたします。

※肖像権などにご配慮いただき, 後ろから撮影した写真等をご利用ください。

2021年8月10日(火)に「2021年度学会連携リフレッシュ理科教室」を十分な感染症対策を取った上(※)で開催した。上郷小学校, 高森北/南小学校, 喬木第一/二小学校, 豊丘北/南小学校に通う小学3~6年生を対象にし, 小学生14名と保護者9名の計23名の参加があった。

「手回し発電機で発電しよう!」と題して実施された理科教室は, 電気はどのようにして作られるのか, モータを使った手回し発電機を用いて実験と講義を交えて実施された。参加した児童達は, 自らが発電した電気でLEDを点灯させたり, 電気が蓄電される様子を実験を通して体感した。今回の実験を通して, 普段, 当たり前のように使っている電気やエネルギーについて改めて知ってもらい, 科学や工学などの分野に興味や関心をもって学んでもらったものと思われる。

昨年度に続き, 長野県の中でも理科教室などの理科イベントが希薄な飯田地域で4回目(エス・バードでは3回目)の開催であったが, 新型コロナウイルスの第5波の最中で, 参加者は例年よりも少なかったものの例年通り児童から活発に多くの質問があるなど大変有意義な理科教室となった。参加した児童達が, 将来, 理科について興味をもって学び, 技術・科学をさらに発展してくれることを望む。

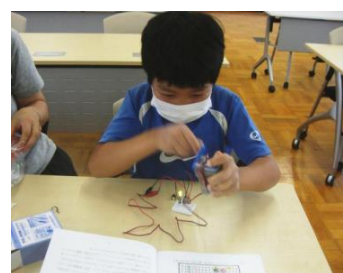
※: エス・バードの中でも教室形式で最も広いC-301(大会議室)を利用した。時間を10:15~11:00, 11:15~12:00, 14:30~15:15の3回に分けて実施し, 1回当たり児童・保護者を含めて10名を超えないように班分けし, 常に窓を4ヶ所以上開けて通気している状態にし, 三密を回避した。また, 感染症対策として, 参加者にはマスク着用と, 入室の際には手と指のアルコール消毒をお願いし, 各回終了後には参加者の机をアルコール消毒した。実施日から2週間経った8月24日時点で実施者を含む参加者の新型コロナウイルスの陽性判定者および濃厚接触者は確認されておらず無事に実施できたものと思われる。



講義の様子



実験指導の様子



発電実験の様子

実施報告書は, リフレッシュ理科教室開催後1か月以内に**応物事務局 教育企画委員会担当宛**まで各支部長・分科会幹事長にCCで共有の上メール添付(WORD形式)にてご提出ください(原本不要です)。